
【1】第17回高校生理学研究発表会の開催概要について

【2】JSEC2022（第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ）最終審査結果について

【3】第66回日本学生科学賞の入賞作品の決定について

【1】第17回高校生理学研究発表会の開催概要について

第17回高校生理学研究発表会が対面によるポスター発表の形式で千葉大学西千葉キャンパスにて開催されることになりました。また、オンラインによる発表資料の公開も併用します。開催日は以下の通りです。

ポスター発表：令和5年9月30日（土）

（新型コロナウイルス対策として、発表会は午前、午後の入れ替え制で実施）

発表資料の公開（オンライン）：令和5年9月27日（水）～令和5年10月3日（火）

なお、募集期間は令和5年8月29日（火）～令和5年9月4日（月）正午です。

開催方法等は千葉大学高大連携支援室のWEBサイトの「開催概要」（<https://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/event/> より）をご覧ください。

【2】JSEC2022（第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ）最終審査結果について

JSEC2022の最終審査会が昨年12月10日（土）、11日（日）に開催されました。339件の研究作品から30研究作品が最終審査会に出場しました。千葉県からは芝浦工業大学柏高校の個人研究、千葉県立佐倉高校の個人研究がそれぞれ最終審査会に進出し、審査の結果、芝浦工業大学柏高校の個人研究が審査委員奨励賞Aを受賞しました。

詳細は右記のURLをご参照ください。 <https://manabu.asahi.com/jsec/>

【3】第66回日本学生科学賞の入賞作品の決定について

第66回日本学生科学賞の受賞作品が決定し、12月24日の中央表彰式で発表されました。千葉県からは中学の部で千葉大学教育学部附属中学校の個人研究が入選1等となりました。高校の部では残念ながら千葉県からの入賞、入選はありませんでした。

詳細は右記のURLをご参照ください。 <https://event.yomiuri.co.jp/jssa/news/detail/15#>

【編集後記】

睦沢（むつざわ）町にある妙楽寺を訪れた。妙楽寺は平安時代後期創建の古刹で本堂には国の重要文化財の「木造大日如来坐像」が鎮座し、両脇には千葉県有形文化財の木造不動明王立像、木造毘沙門天立像が並んでいる。大日如来坐像の開帳は毎年2月の第1日曜日であるらしい。訪問日は開帳日ではなかったが、外陣から十分に拝観ができた。「立派でいいものを見た」という感想である。次に諏訪神社を訪ねた。ここは樹齢1000年以上あるご神木のクスノキと社殿裏にある「瞳のトンネル」と

呼ばれるトンネル（風穴）が有名らしい。風穴をくぐっている姿を写真に撮ると「瞳」のように見えるということで、私も SNS 映えする写真を撮影した。その後、道の駅むつぎわに立ち寄った。施設内のつどいの市場ではお土産、農産品や花のほかメダカなども販売されていた。施設の目玉は「かん水」を地場産天然ガスで温めた天然温泉であろう。今回は利用しなかったが、次回は是非とも温泉に入ろうと思った。なお、妙楽寺は千葉県の Web ページ「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」に掲載されている。（橋）